

CASBEE-建築(新築)2016年版

㈱明治 京都工場 冷蔵庫棟増築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.6
Q1 室内環境			0.31			2.1
1 音環境		1.9	0.15	-	-	1.9
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		1.4	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		2.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境		2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御		3.5	0.50	-	-	
1 室温	断熱パネルを使用し外部への熱的影響を低減している。	3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		5.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		1.6	0.25	-	-	1.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-	
1 昼光率		1.0	0.60	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		2.0	1.00	-	-	
3.3 照度		2.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-	
4 空気環境		2.4	0.25	-	-	2.4
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-	
4.2 換気		1.6	0.30	-	-	
1 換気量		1.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		1.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理		2.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50	-	-	
Q2 ガンビズ性能			0.30			2.8
1 機能性		2.5	0.40	-	-	2.5
1.1 機能性・使いやすさ		1.5	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0	0.50	-	-	
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.50	-	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性	天井高さ2.7m以上	3.5	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		4.0	0.50	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:SUS、排水:VPを採用。	4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	耐震クラスA	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-
1 階高のゆとり			3.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				0.39	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性						3.3
LR1 エネルギー				0.40		3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPIm=0.54	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.71	3.9	0.50	-	3.9
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集住住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-
集住住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				0.30		2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水型便器、節水コマを採用。	4.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		乾式、外壁材イソバンド等のユニット建材により分解、再利用可。	5.0	0.22	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-
1 消火剤			2.0	0.33	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-
LR3 敷地外環境				0.30		3.0
1 地球温暖化への配慮		断熱パネルを使用し外部への熱的影響を低減している。	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	2.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	0.33	-	-
2 振動			3.0	0.33	-	-
3 悪臭			3.0	0.33	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-